

前頭側頭型認知症という病気をご存じですか？

前頭側頭型認知症は、脳の神経細胞の変性疾患という点でアルツハイマー病やレビー小体

がなくなるという行動障害が特徴で、記憶障害や幻視、妄想はほとんどみられません。同じことを繰り返す「常同行動」や、場所をわきまえない失礼な言動、万引など社会的な関係を軽視し、周

く、病気だという意識にかけるため、家族が受診させようとしても拒んで受診できないという悩みもよく聞かれます。行動障害は友人や近隣住民が住み慣れた地域で生活を続けたいと願っています。認知症の人とその家族との関係も壊し

の多くはアルツハイマー病や脳血管性認知症に関するものです。認知症と違って、よく知られている認知症の症状（前頭葉）と側方（側頭葉）に生じます。前頭葉は主に感情や行動をコントロールする場所です。初期には行動の抑制が

家族との関係も壊し、周知症と違って、よく知られている認知症の症状（前頭葉）と側方（側頭葉）に生じます。前頭葉は主に感情や行動をコントロールする場所です。初期には行動の抑制が

県立看護大学 老年看護学助教

認知症看護認定看護師

加賀美 亜矢子

しかし、これらの症状が重要です。何かおかしいなと感じた時には、その人や家族を責めず、

知症といっても、よく知られている認知症の症状（前頭葉）と側方（側頭葉）に生じます。前頭葉は主に感情や行動をコントロールする場所です。初期には行動の抑制が

前頭側頭型認知症 ご存じですか

いなど感じた時には、その人や家族を責めず、

知症といっても、よく知られている認知症の症状（前頭葉）と側方（側頭葉）に生じます。前頭葉は主に感情や行動をコントロールする場所です。初期には行動の抑制が